
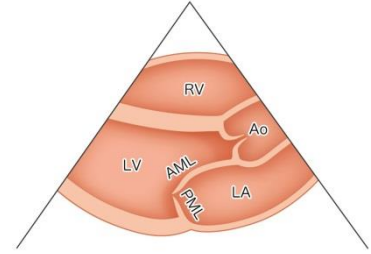


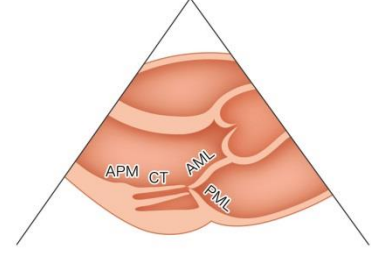


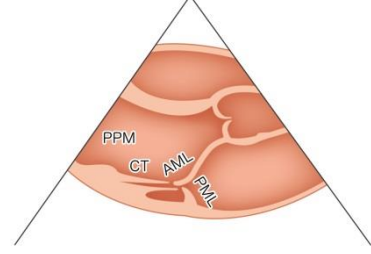
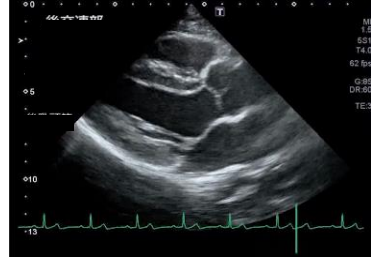
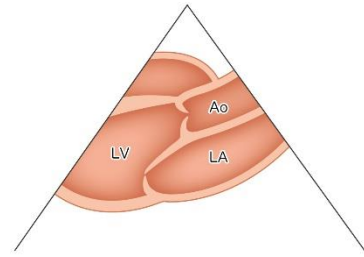


走査	描出像	観察部位	走査法と注意事項
	<p>胸骨左縁左室長軸断面</p>  	<p>左室： 心室中隔 下側壁(後壁)</p> <p>左房 僧帽弁 大動脈弁 大動脈基部 上行大動脈 下行大動脈 右室 冠静脈洞</p>	<p>検査時の体位は、肺に含まれる空気の影響を避けるため、通常は左側臥位で行う。</p> <p>第3または第4肋間胸骨左縁に探触子を置き、左室の長軸に沿って心臓を描出する。</p> <p>左室内径が最も大きく、かつ心室中隔と大動脈前壁がほぼ同じ高さになるように描出する。左室の乳頭筋や腱索がなるべく見えないように描出する。</p>
	<p>前交連側 左室長軸断面</p>  	<p>僧帽弁前交連側 腱索 前乳頭筋</p>	<p>正中部左室長軸断面から探触子をわずかに反時計回転させ、超音波のビーム方向がやや外側上方を向くように探触子を傾ける。</p> <p>弁尖～腱索～前乳頭筋が連続的に描出されるようにする。</p>
	<p>後交連側 左室長軸断面</p>  	<p>僧帽弁後交連側 腱索 後乳頭筋</p>	<p>正中部左室長軸断面から探触子をわずかに時計回転させ、超音波のビーム方向がやや内側下方を向くように探触子を傾ける。</p> <p>弁尖～腱索～後乳頭筋が連続的に描出されるようにする。</p>



胸骨左縁左室長軸断面
高位肋間アプローチ

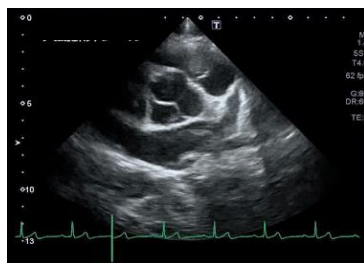
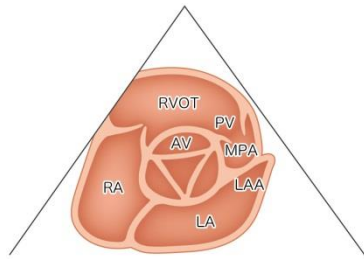


大動脈弁
バルサルバ洞
上行大動脈

胸骨左縁左室長軸断面より
1~2 肋間上の第 2 肋間, また
は第 3 肋間胸骨左縁の左室長
軸方向に沿って探触子を置
く。
できるだけ上行大動脈の
遠位側まで描出する。



胸骨左縁短軸断面
大動脈弁レベル

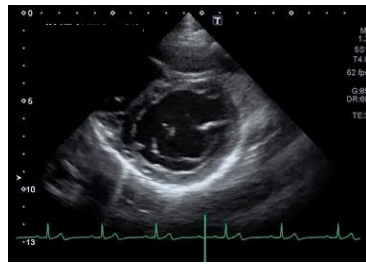
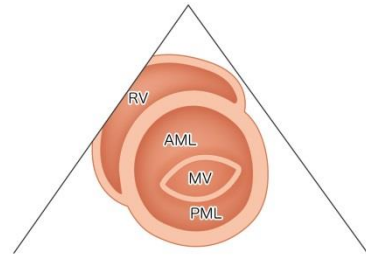


大動脈弁
肺動脈弁
主肺動脈
右室流出路
左房：左心耳
右房
心房中隔
三尖弁
左右冠動脈主幹部

正中左室長軸断面の描出
位置から探触子を正確に
90° 時計回転させて短軸を
描出し, ここから超音波ビー
ムの方向が斜め上方に向く
ように探触子を傾ける。
画面の中央に大動脈弁, 右に
肺動脈弁, 左に三尖弁が見え
るように描出する。
大動脈弁尖が 3 尖とも均等に
描出されるようにする。
左冠尖は超音波ビームが斜
めにあたるため, 大動脈弁の
中では最も描出しづらい。
左心耳は描出できない場合
が多い。



胸骨左縁短軸断面
僧帽弁レベル

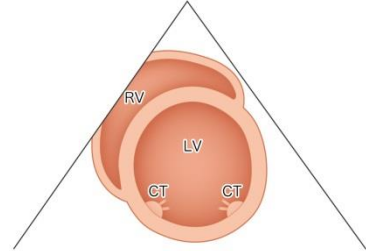


僧帽弁：前尖
後尖
左室
右室
心室中隔

大動脈弁レベルの描出位置から超音波ビームの方向が心尖部方向に向くように探触子を少し傾ける。
僧帽弁前尖の振れが左右均等になるようにし、前尖と後尖ができるだけ繋がって見えるように描出する。



胸骨左縁左室短軸断面
腱索レベル

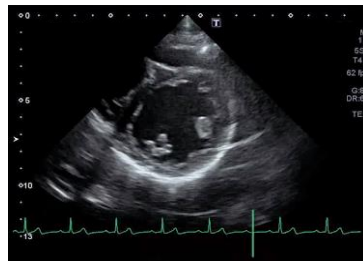
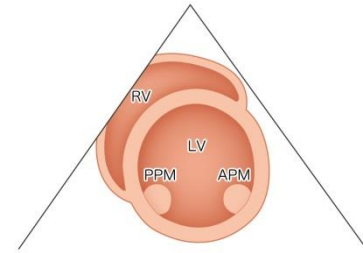


左室：腱索
前壁中隔
下壁中隔
下側壁（後壁）
前側壁（側壁）
前壁
右室

僧帽弁レベルの描出位置から、さらに超音波のビーム方向が心尖部方向に向くように探触子を少し傾ける。
僧帽弁の弁尖から連続する腱索が描出され、左室が正円形になるようにする。
左室の前側壁、および下壁中隔は超音波ビームが斜めに入射するため描出しづらく、局所壁運動異常を見落としやすい。



胸骨左縁左室短軸断面
乳頭筋レベル



左室： 前乳頭筋
後乳頭筋
前壁中隔
下壁中隔
下側壁（後壁）
前側壁（側壁）
前壁

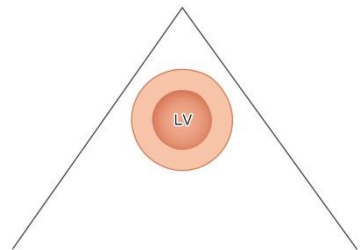
右室

腱索レベルの描出位置から超音波ビームの方向がさらに心尖部方向に向くように探触子を少し傾ける。このとき、探触子を肋間に沿ってやや外側に移動すると描出しやすい。

肋骨により描出できない場合は左室の長軸に沿って一肋間下げてから探触子をやや外側に移動させる。前乳頭筋と後乳頭筋が円く描出され、左室が正円形になるようにする。



胸骨左縁左室短軸断面
心尖部レベル



左室
心尖部

乳頭筋レベルの描出位置から左室の長軸に沿って一肋間下げてから探触子を外側に移動させる。

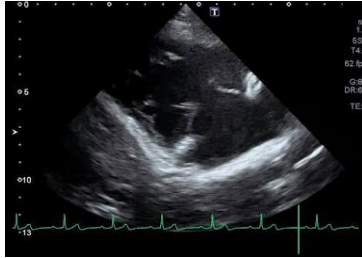
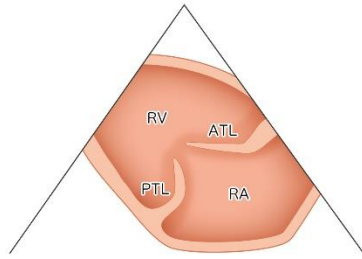
超音波ビームの方向が心尖部方向に向くように探触子を傾ける。

体位と呼吸、および探触子の回転角度を調節し、左室心尖部が円形になるようにする。

心尖部に限局した病変は見落としやすいため、左室内腔が描出されなくなるまで走査する。



右室流入路長軸断面

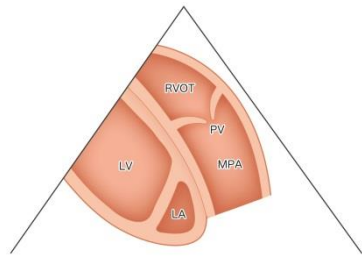


三尖弁：前尖
後尖
右室：右室流入路
右房

胸骨左縁左室長軸断面を描出し、探触子を少し心尖部方向に移動させながら超音波ビームの方向が内側下方向に向くように探触子を傾ける。
左心系が描出されなくなるまで傾け、画面の中央に三尖弁、左上に右室、右下に右房が見えるように描出する。
右室流入路が描出しにくい場合は探触子を一肋間下げると描出しやすい。



右室流出路長軸断面

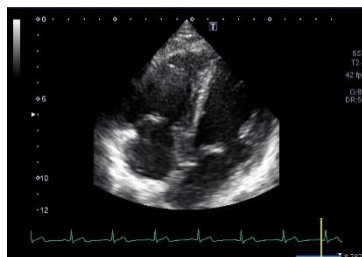
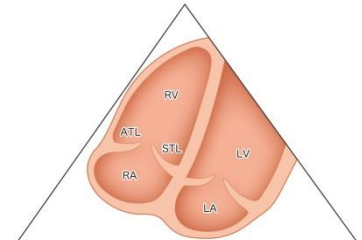


右室：右室流出路
肺動脈弁
主肺動脈

大動脈弁レベル短軸断面から探触子をわずかに反時計回転させながら超音波ビームの方向を左肩外側上方に傾ける。
画面左から右室流出路、肺動脈弁、主肺動脈が連続に見えるようにし、右室流出路が長軸かつ最大となるように描出する。


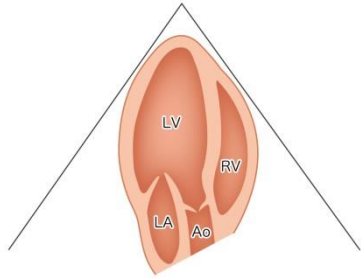
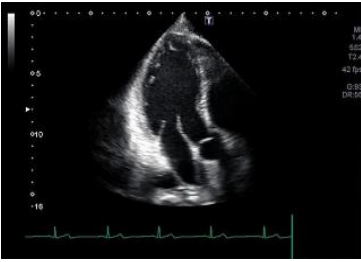

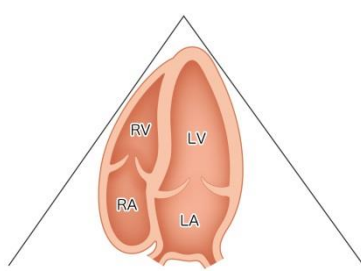


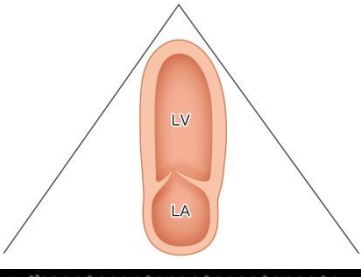



胸骨左縁四腔断面



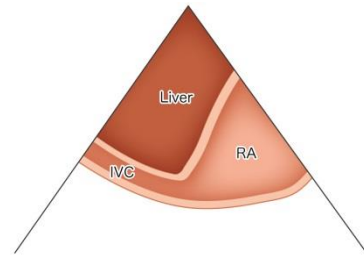
右室
左室
心室中隔
右房
左房
心房中隔
僧帽弁
三尖弁：前尖
中隔尖

胸骨左縁短軸断面僧帽弁レベルを描出し、探触子を少し時計回転させながら外側に移動させ、心尖部四腔断面より高い肋間で四腔断面を描出する。
心房中隔と心室中隔を明瞭に描出する。

	<p>心尖部長軸断面</p>  	<p>左房 左室：前壁中隔 下側壁（後壁） 左室心尖部 僧帽弁 大動脈弁 左房</p>	<p>心尖拍動が触れる心尖部に探触子を置く。 胸骨左縁左室長軸断面から左室長軸に沿って探触子を移動してもよい。 探触子の直下に左室の心尖部が描出されるようにし、左室、僧帽弁、大動脈弁、左房を描出する。 大動脈弁と僧帽弁が明瞭に描出され、左室内に乳頭筋や腱索が描出されないようにする。</p>
	<p>心尖部四腔断面</p>  	<p>右室 左室：下壁中隔 前側壁（側壁） 右房 左房 心房中隔 僧帽弁 三尖弁 肺静脈</p>	<p>心尖拍動が触れる心尖部に探触子を置く。 心尖部長軸断面の描出位置から時計方向に約120度回転させてもよい。 探触子の直下に左室の心尖部が描出されるようにし、4つの腔が最大となるところで両房室弁が明瞭に見えるように描出する。 探触子を上方に傾けすぎると四腔像の中に大動脈弁が見え、下方に傾けすぎると左房が斜め切りとなる。</p>
	<p>心尖部二腔断面</p>  	<p>左房 左室：前壁 下壁 僧帽弁</p>	<p>心尖部四腔断面の描出位置から探触子を反時計方向に90度回転させる（右心系が見えなくなるところ、前乳頭筋が見えなくなるところで探触子を固定する）。 探触子の直下に左室の心尖部が描出されるようにし、左室が最大に描出されるようにする。</p>



心窩部矢状断面
下大静脈長軸断面

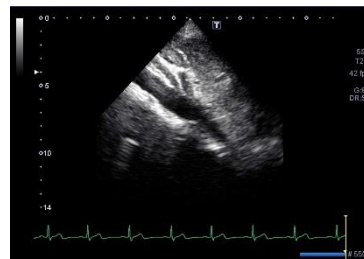
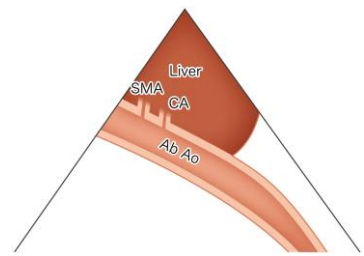


下大静脈
右房
三尖弁
心房中隔

体位は仰臥位で行う。
剣状突起下で正中線のやや
右側に探触子を置く。
被検者の腹筋の影響で画像
描出が困難な場合は軽く足
を屈曲し探触子をやや強く
圧迫する。
下大静脈長軸, 肝静脈, 右房
への流入部が見えるように
描出する。
下大静脈短軸断面を描出
する場合は探触子を時計
方向に 90 度回転させる。



心窩部矢状断面
腹部大動脈長軸断面

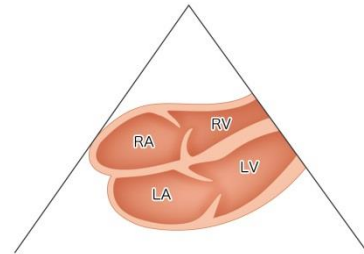


腹部大動脈
腹腔動脈
上腸管膜動脈

剣状突起下で正中線のやや
左側に探触子を置く。
被検者の腹筋の影響で画像
描出が困難な場合は軽く足
を屈曲し探触子をやや強く
圧迫する。
腹部大動脈, 腹腔動脈,
上腸間膜動脈が見えるよう
に描出する。
腹部大動脈短軸断面を描出
する場合は探触子を時計
方向に 90 度回転させる。



心窩部四腔断面

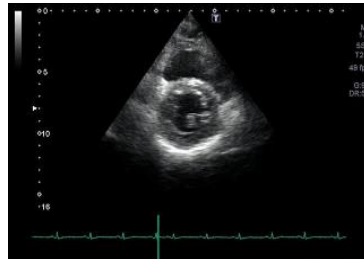
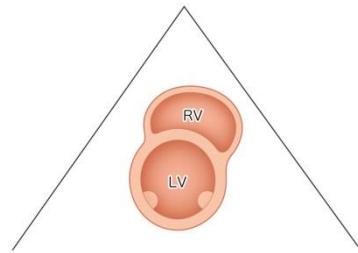


右房
右室
左房
左室
心房中隔
心室中隔
三尖弁
僧帽弁

探触子の位置を剣状突起下
にて水平に置き上側を仰ぎ
見るようやや強く圧迫する。
4 つの腔が最も大きく見え、
両房室弁が明瞭に見える
ように描出する。
肝臓を介して心臓を描出
するとよい。
この断面は心房中隔を描出
するのにも適している。



心窩部短軸断面



左室：前壁中隔
下側壁（後壁）
前側壁（側壁）
前壁

右室

心窩部四腔断面の描出位置から、探触子を 90 度反時計方向に回転さる。

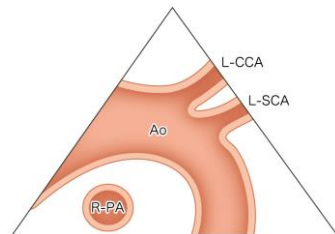
探触子をやや強く圧迫しながら断層面を傾け、大動脈弁口～乳頭筋レベル～可能であれば心尖部レベル短軸断面まで描出する。

この断面は胸骨左縁短軸断面よりも時計回転した画像として描出される。

肺気腫などで胸骨左縁から描出するのが困難な症例に有効である。



胸骨上窩大動脈弓部断面




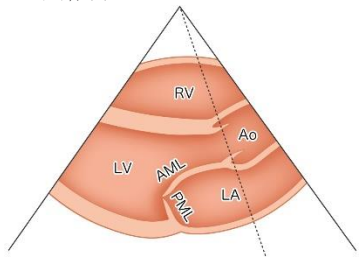
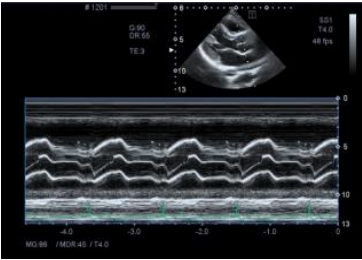

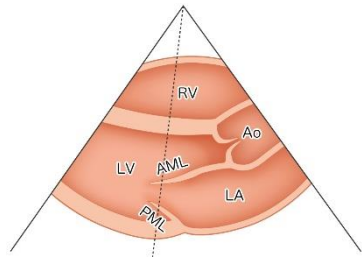
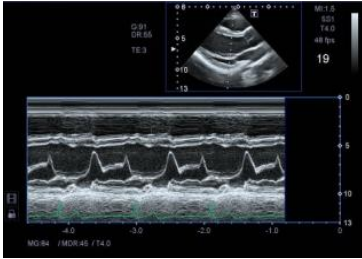
大動脈弓部（腕頭動脈）
左総頸動脈
左鎖骨下動脈
下行大動脈
右肺動脈

被検者を仰臥位にし、首を後屈させる。

胸骨上窩に探触子を置き、胸骨の裏側をのぞき込むように探触子を傾げる。

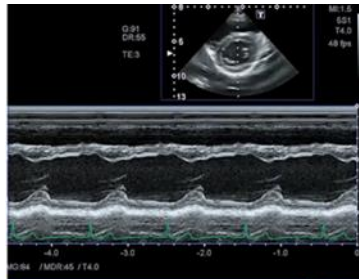
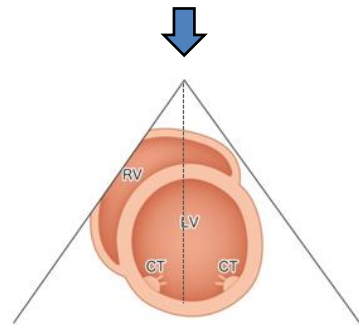
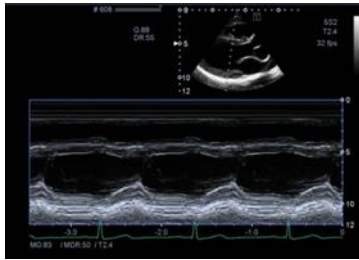
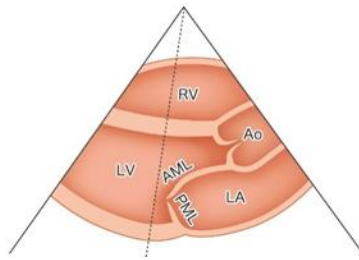
上行大動脈，大動脈弓部，分枝動脈，下行大動脈を描出する。

腕頭動脈が描出されることは稀である

<p>Mモード法</p> 	<p>大動脈弁</p>  	<p>大動脈弁 大動脈 ：バルサルバ洞 右室 左房</p>	<p>超音波ビームが右室流出路，大動脈弁尖，左房を通る部分で記録する。 長軸および短軸の両断面を用いてビームが斜めに入射されていないこと，大動脈の最大径を捉えていることなどを確認する。</p>
	<p>僧帽弁</p>  	<p>僧帽弁 右室 左室： 前壁中隔 下側壁（後壁）</p>	<p>僧帽弁弁尖を通る部位で記録する。 前尖と後尖を同時に描出し，弁尖の振幅が最大となるようにする。</p>


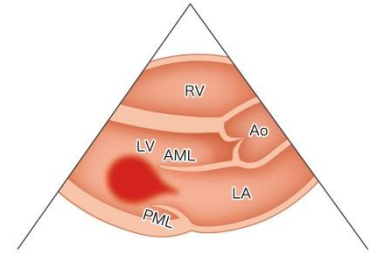


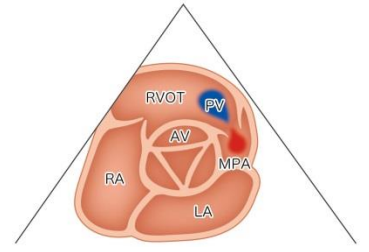
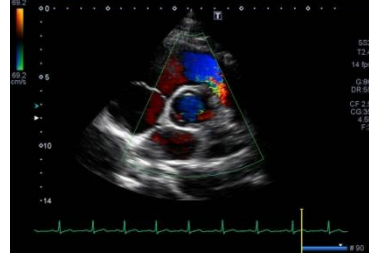

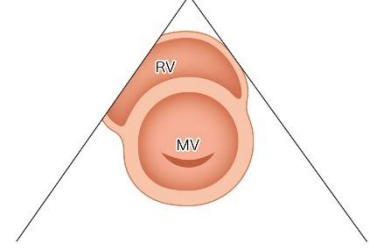




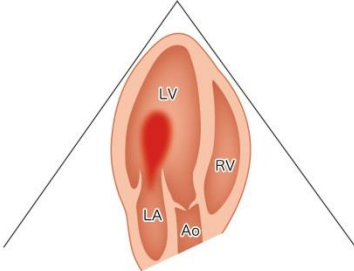
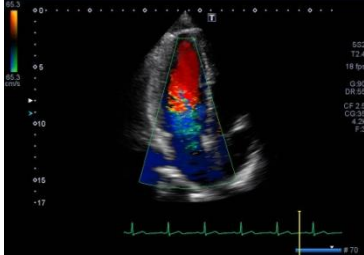

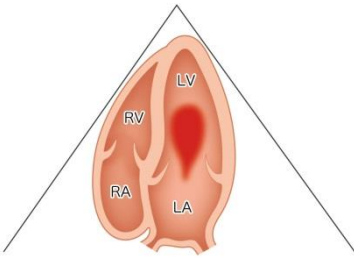


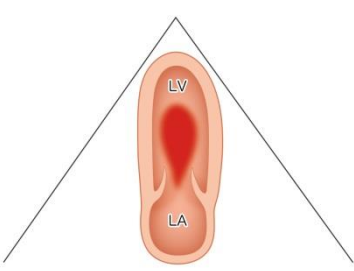
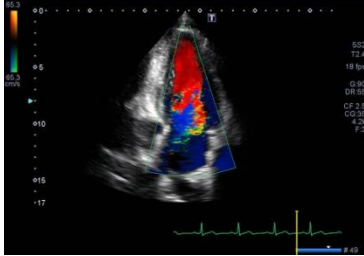
胸骨左縁左室長軸断面
→胸骨左縁左室短軸断面





右室
左室：
前壁中隔
下側壁(後壁)

斜め切りにならないように注意し、左室腔が最大となる断面で、腱索レベルにMモードカーソルを置き、拡張早期に僧帽弁の先端がわずかに描出されるようにする。その位置から、探触子を正確に90°時計回転させて左室短軸断面を描出して、Mモードカーソルが左室の中央にあることを確認して記録する。

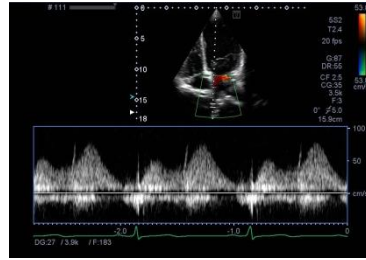
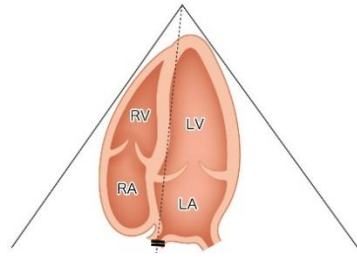
<p>カラードプラ法</p> 	<p>胸骨左縁左室長軸断面</p>  	<p>左室流入血流 左室駆出血流 弁逆流： 大動脈弁逆流 僧帽弁逆流 狭窄血流： 大動脈弁狭窄 僧帽弁狭窄 左室流出路狭窄 短絡血流</p>	<p>胸骨左縁左室長軸断面を描出し、血流評価を行う。 この断面では主に僧帽弁逆流と大動脈弁逆流の評価を行う。 逆流の吹き出し口が描出され、逆流シグナルが最も大きくなるようにする。</p>
	<p>胸骨左縁短軸断面 大動脈弁レベル</p>  	<p>大動脈弁口血流 右室流入血流 右室駆出血流 逆流： 大動脈弁逆流 三尖弁逆流 肺動脈弁逆流 狭窄血流： 大動脈弁狭窄 肺動脈弁狭窄 右室流出路狭窄 短絡血流</p>	<p>大動脈弁レベル短軸断面を描出し、血流評価を行う。 この断面では主に大動脈弁逆流、肺動脈弁逆流、三尖弁逆流の評価を行う。 短絡疾患があれば短絡血流の評価を行う。</p>
	<p>胸骨左縁短軸断面 僧帽弁レベル</p>  	<p>僧帽弁通過血流 弁逆流： 僧帽弁逆流 狭窄血流： 僧帽弁狭窄</p>	<p>僧帽弁レベル短軸断面を描出し、血流評価を行う。 この断面では主に僧帽弁逆流の評価を行う。 僧帽弁逆流の吹き出し口と逆流シグナルが向かう方向がわかるようにする。</p>

	<p>心尖部長軸断面</p>  	<p>左室流入血流 左室駆出血流 弁逆流： 大動脈弁逆流 僧帽弁逆流 狭窄血流： 大動脈弁狭窄 僧帽弁狭窄 左室流出路狭窄</p>	<p>心尖部長軸断面を描出し、血流評価を行う。 この断面では主に僧帽弁逆流と大動脈弁逆流の評価を行う。 狭窄血流では大動脈弁狭窄、僧帽弁狭窄、左室流出路狭窄の評価を行う。</p>
	<p>心尖部四腔断面</p>  	<p>左室流入血流 右室流入血流 弁逆流： 僧帽弁逆流 三尖弁逆流 狭窄血流： 僧帽弁狭窄 三尖弁狭窄 肺静脈血流 短絡血流</p>	<p>心尖部四腔断面を描出し、血流評価を行う。 この断面では主に僧帽弁逆流と三尖弁逆流の評価を行う。 狭窄血流では僧帽弁狭窄、三尖弁狭窄の評価を行う。 短絡疾患があれば短絡血流の評価を行う。</p>
	<p>心尖部二腔断面</p>  	<p>左室流入血流 弁逆流： 僧帽弁逆流 狭窄血流： 僧帽弁狭窄</p>	<p>心尖部二腔断面を描出し、血流評価を行う。 この断面では主に僧帽弁逆流の評価を行う。</p>

パルスドプラ法			
	<p>左室流入血流速波形</p>	<p>左室流入血流速波形 拡張早期波： E波 心房収縮期波： A波</p>	<p>心尖部長軸断面または心尖部四腔断面を描出し、僧帽弁の弁尖部にパルスドプラ法のサンプルボリュームを設定する。 カラードプラ法をガイド下にドプラビームが左室流入血流に対して、できるだけ平行になるように断面を調節する。 左室流入血流速波形はサンプルポイントの位置によって波形が大きく変化するため、いつも同じ位置に設定するようにする。</p>
	<p>左室駆出血流速波形</p>	<p>左室駆出血流速波形</p>	<p>心尖部長軸断面または心尖部五腔断面を描出し、パルスドプラ法のサンプルボリュームを収縮期に大動脈弁直下の左室流出路中央部にくるように設定する。 カラードプラ法をガイド下にドプラビームが左室駆出血流に対して、できるだけ平行になるように断面を調節する。 角度補正は計測誤差の原因となるため行わないようにする。</p>



肺静脈血流速波形

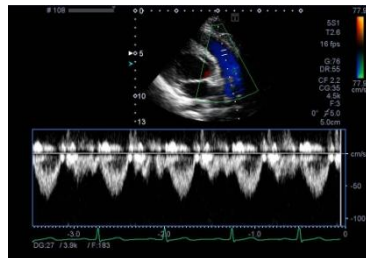
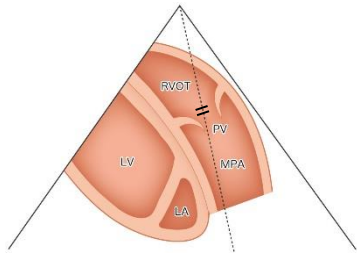


肺静脈血流速波形
収縮期順行血流速
波形：S波
拡張期順行血流速
波形：D波
心房収縮期逆行血
流速波形：A波

心尖部四腔断面で右肺静脈の流入部を描出し、パルスドプラ法のサンプルボリュームを左房流入部から 1~2cm 末梢側の肺静脈内に設定する。
カラードプラ法の色速度レンジを 40cm 毎秒程度に低く設定し、カラーエリアを狭くすると肺静脈血流速波形の描出が容易になる。


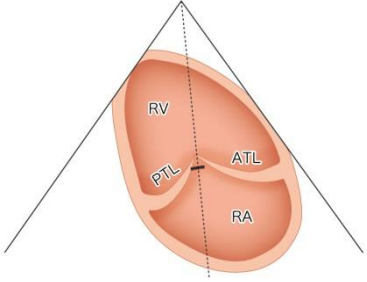


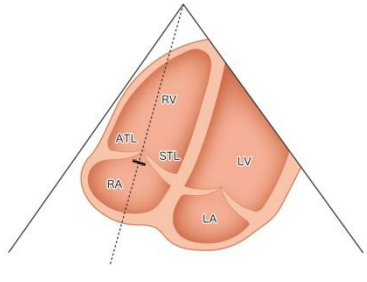
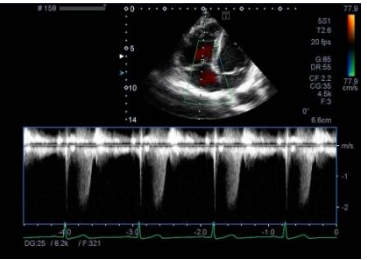


右室駆出血流速波形



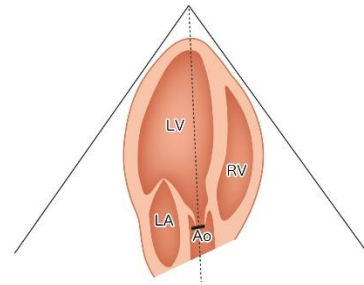
右室駆出血流速波
形

右室流出路長軸断面を描出し、パルスドプラ法のサンプルボリュームを収縮期に肺動脈弁直下の右室流出路中央部にくるように設定する。
カラードプラ法をガイド下にドプラビームが右室駆出血流に対して、できるだけ平行になるように断面を調節する。
この断面ではカラードプラ法で肺動脈弁逆流や右室駆出血流の評価も行う。

<p>連続波ドプラ法</p> 	<p>三尖弁逆流速波形 右室流入路長軸断面</p>  	<p>三尖弁逆流速波形</p>	<p>右室流入路長軸断面で三尖弁逆流を描出する。 カラードプラ法をガイド下に連続波ドプラビームが三尖弁逆流に対して、できるだけ平行になるように断面を調節する。 フォーカスポイントの位置は三尖弁直下の逆流口付近に設定する。 この断面ではカラードプラ法で三尖弁逆流や右室流入血流の評価も行う。</p>
	<p>三尖弁逆流速波形 胸骨左縁四腔断面</p>  	<p>三尖弁逆流速波形</p>	<p>胸骨左縁四腔断面で三尖弁逆流を描出する。 カラードプラ法をガイド下に連続波ドプラビームが三尖弁逆流に対して、できるだけ平行になるように断面を調節する。 フォーカスポイントの位置は三尖弁直下の逆流口付近に設定する。 この断面ではカラードプラ法で三尖弁逆流や右室流入血流の評価も行う。 短絡疾患があれば短絡血流の評価を行う。</p>



大動脈弁口血流速波形



大動脈弁口血流速波形

心尖部長軸断面または心尖部五腔断面で大動脈弁口血流を描出する。

カラードプラ法をガイド下にドプラビームが大動脈弁口血流に対して、できるだけ平行になるように断面を調節する。

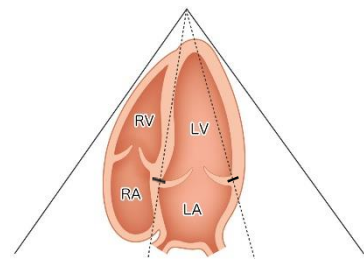
フォーカスポイントの位置は大動脈弁直上の弁口血流に設定する。

角度補正は計測誤差の原因となるため行わないようにする。

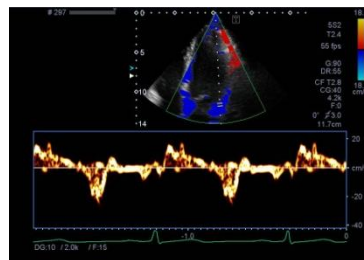
組織ドプラ法



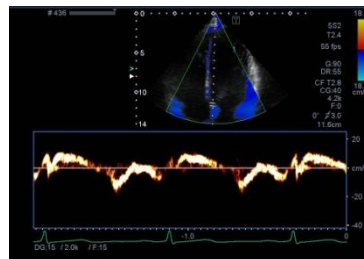
僧帽弁輪部運動速波形



側壁側



中隔側



収縮期波：s'
拡張早期波：e'
心房収縮期波：a'

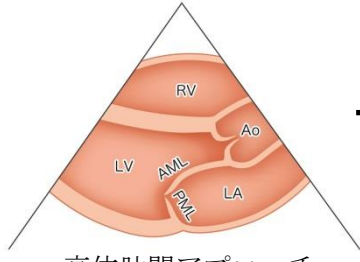
心尖部四腔断面で僧帽弁輪部（側壁、中隔）に組織ドプラ法のサンプルボリュームを設定して、僧帽弁輪部運動速波形を記録する。

ドプラビームが長軸方向の動きに対して、できるだけ平行になるように断面を調節する。

サンプルボリュームの大きさは 10mm 程度とし、フィルタとゲインを低めに設定して記録する。

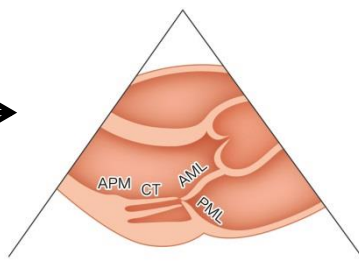
走査手順全体図 (パターン1)

胸骨左縁左室長軸断面

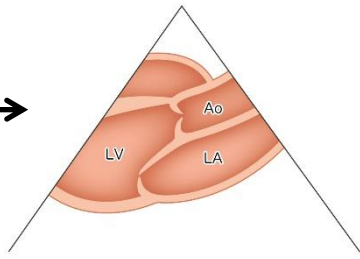
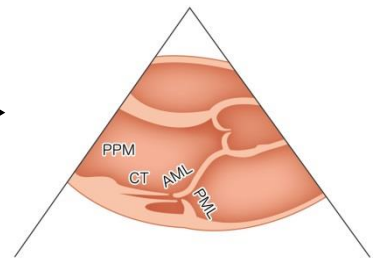


高位肋間アプローチ

前交連側左室長軸断面

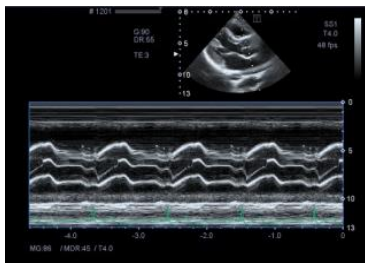


後交連側左室長軸断面

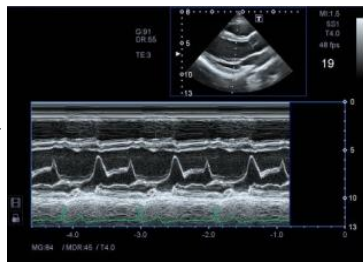


Mモード法

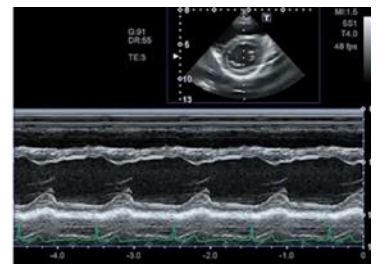
大動脈-左房



僧帽弁

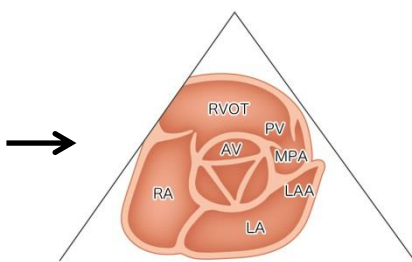


左室

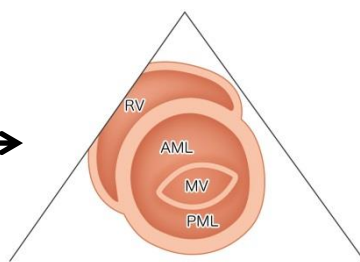


胸骨左縁短軸断面

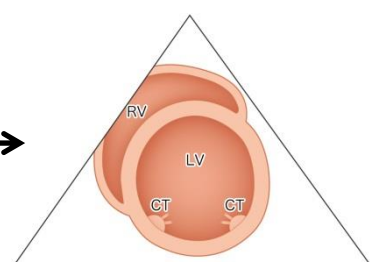
大動脈弁レベル



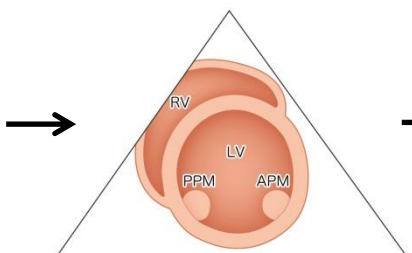
僧帽弁レベル



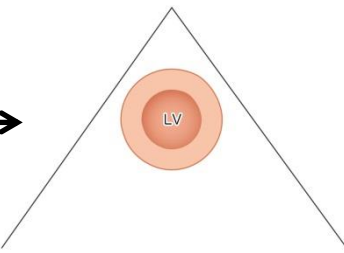
腱索レベル



乳頭筋レベル

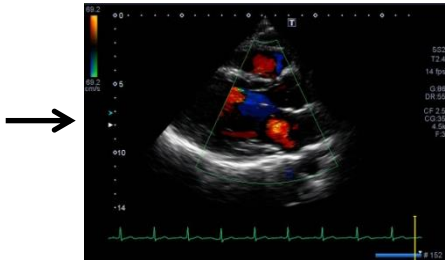


心尖部レベル



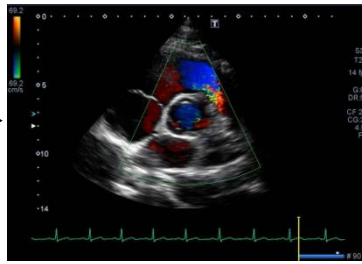
カラードプラ法

胸骨左縁左室長軸断面

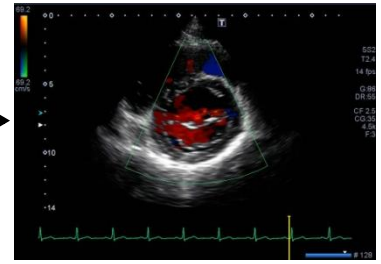


胸骨左縁短軸断面

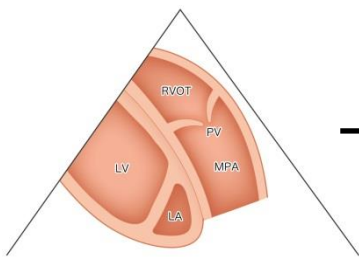
大動脈弁レベル



僧帽弁レベル

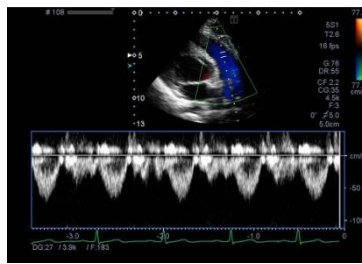


右室流出路長軸断面

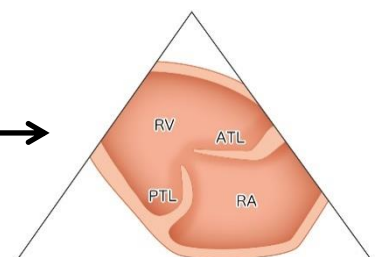


パルスドプラ法

右室駆出血流速波形

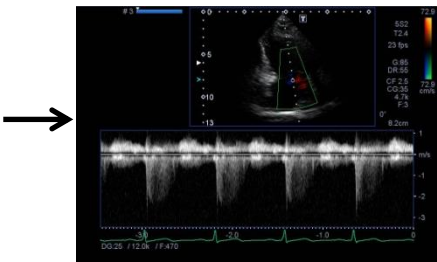


右室流入路長軸断面

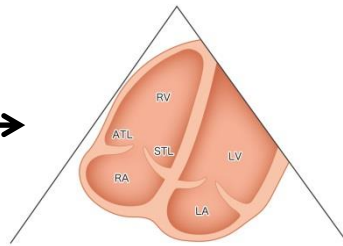


連続波ドプラ法

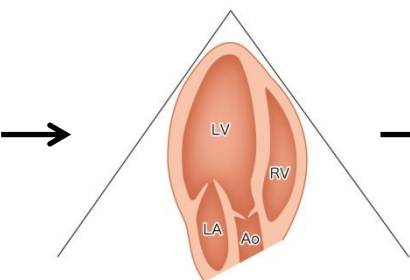
三尖弁逆流流速波形



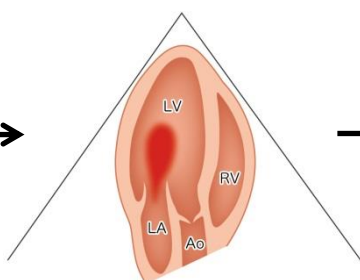
胸骨左縁四腔断面



心尖部長軸断面

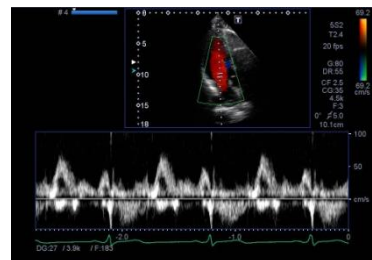


カラードプラ法



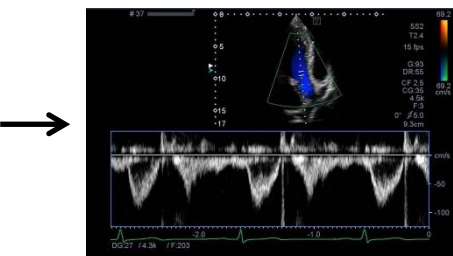
パルスドプラ法

左室流入血流速度波形



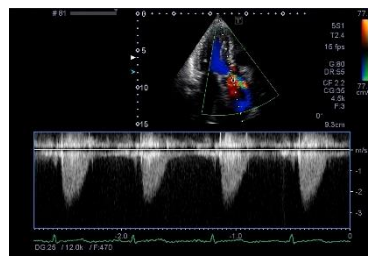
パルスドプラ法

左室駆出血流速波形

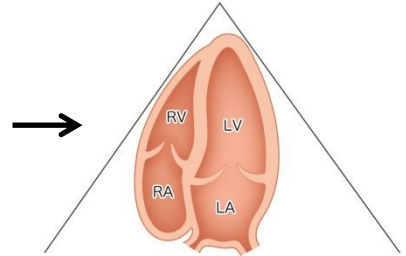


連続波ドプラ法

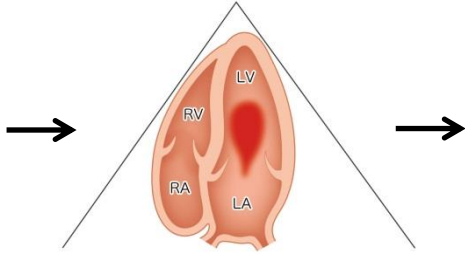
大動脈弁口血流速度波形



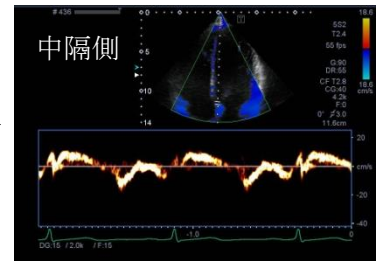
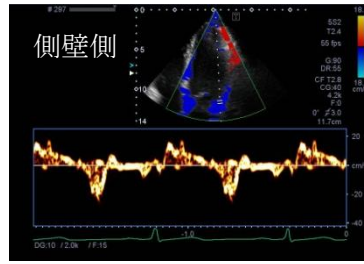
心尖部四腔断面



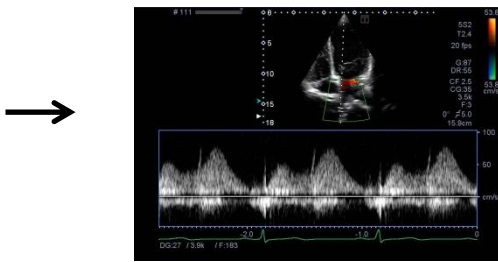
カラードプラ法



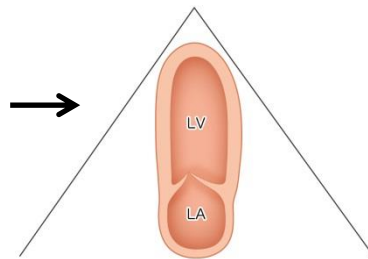
組織ドプラ法 僧帽弁輪部運動速波形



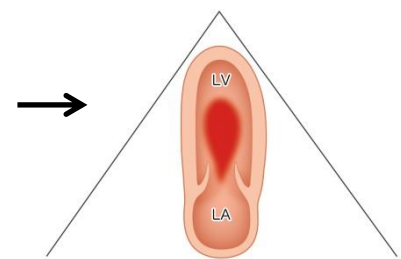
パルスドプラ法
肺静脈血流速波形



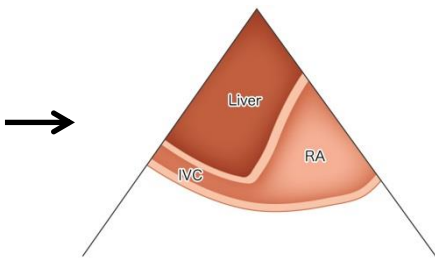
心尖部二腔断面



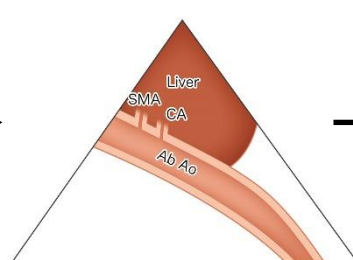
カラードプラ法



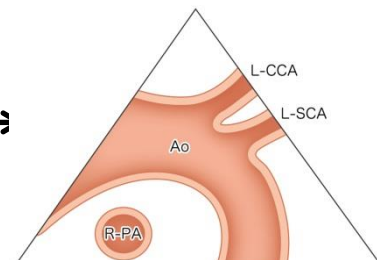
心窩部矢状断面
下大静脈長軸断面



下行大動脈長軸断面

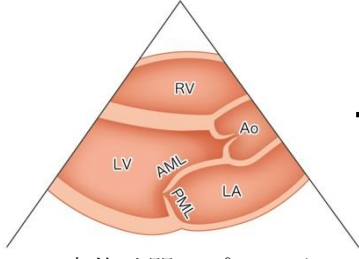


胸骨上窩大動脈
弓部断面



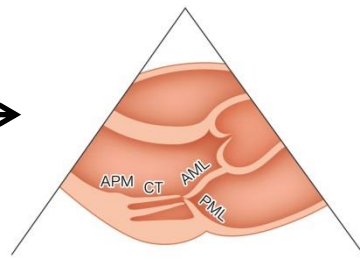
走査手順全体図 (パターン2)

胸骨左縁左室長軸断面

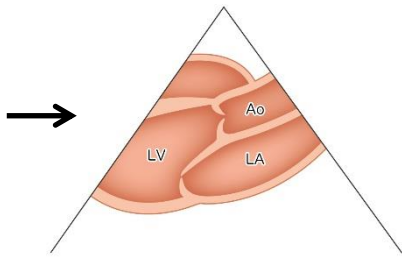
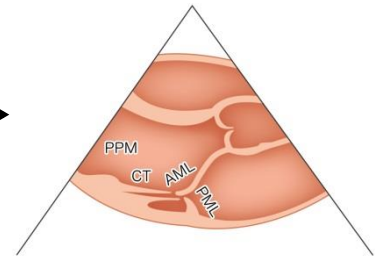


高位肋間アプローチ

前交連側左室長軸断面

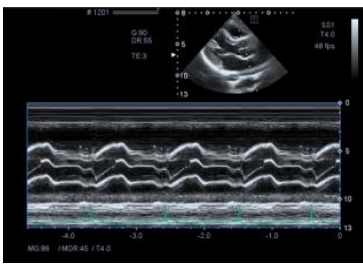


後交連側左室長軸断面

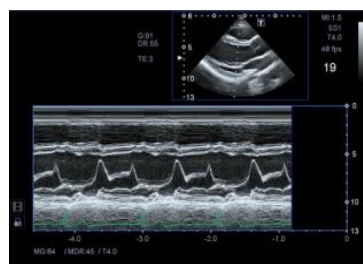


Mモード法

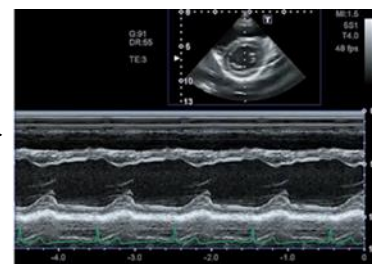
大動脈-左房



僧帽弁

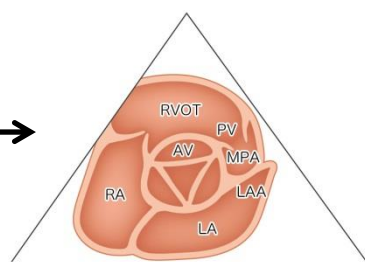


左室

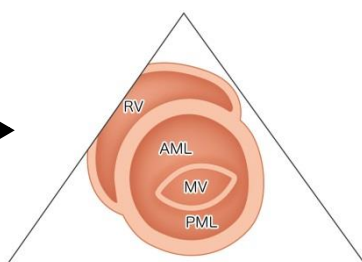


胸骨左縁短軸断面

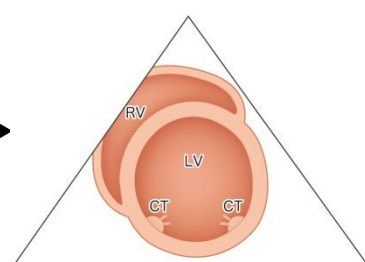
大動脈弁レベル



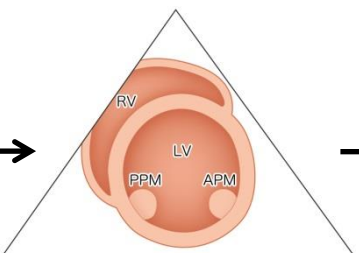
僧帽弁レベル



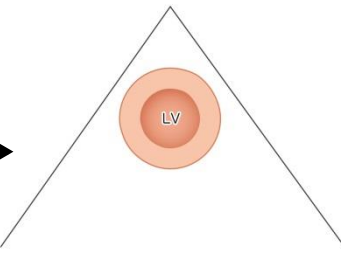
腱索レベル



乳頭筋レベル



心尖部レベル



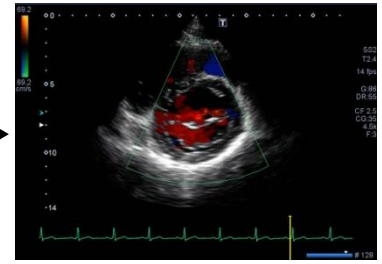
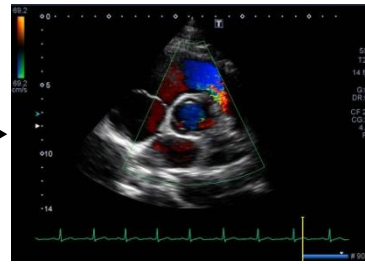
カラードプラ法

胸骨左縁左室長軸断面

胸骨左縁短軸断面

大動脈弁レベル

僧帽弁レベル

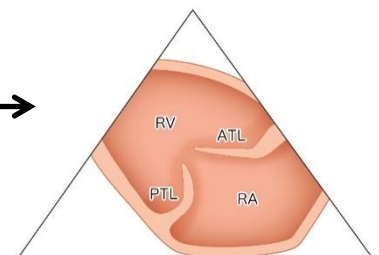
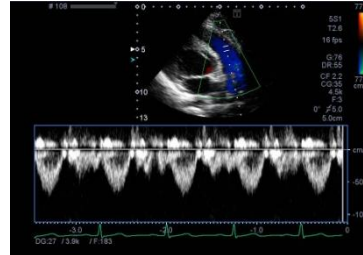
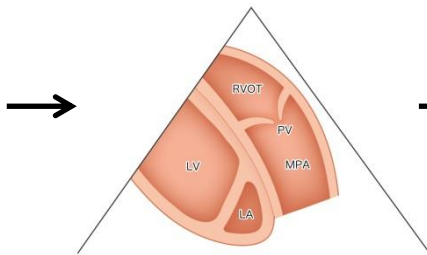


右室流出路長軸断面

パルスドプラ法

右室駆出血流速波形

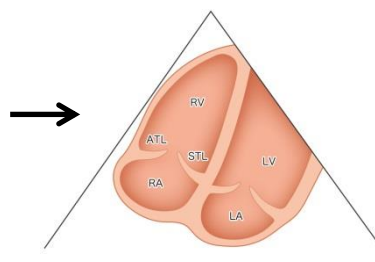
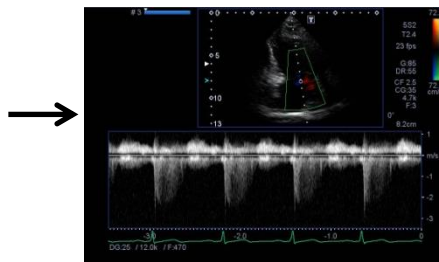
右室流入路長軸断面



連続波ドプラ法

三尖弁逆流速波形

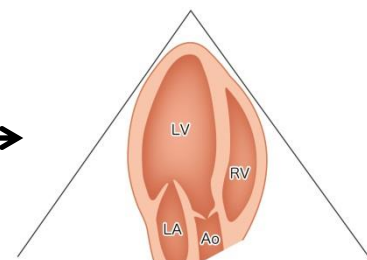
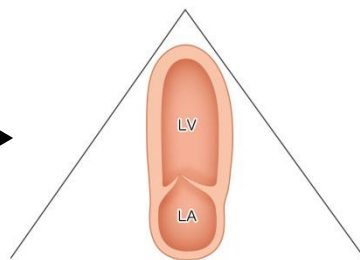
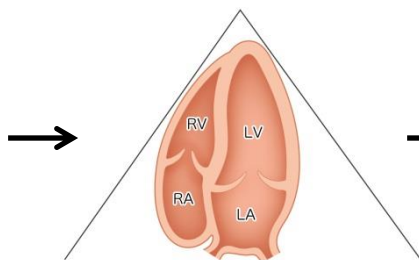
胸骨左縁四腔断面



心尖部四腔断面

心尖部二腔断面

心尖部長軸断面

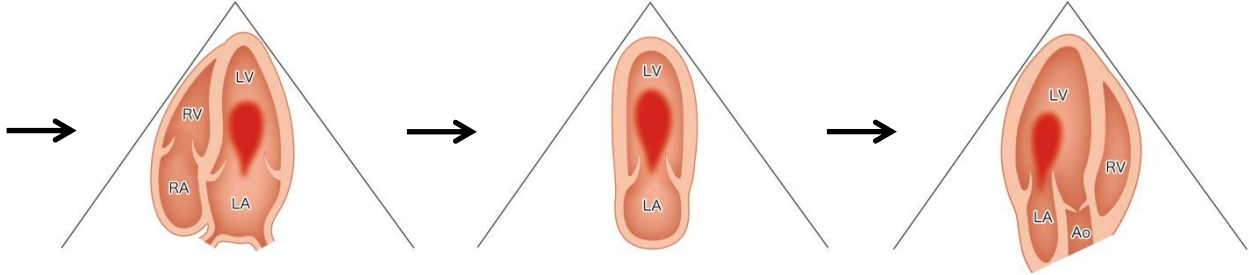


カラードプラ法

心尖部四腔断面

心尖部二腔断面

心尖部長軸断面



パルスドプラ法

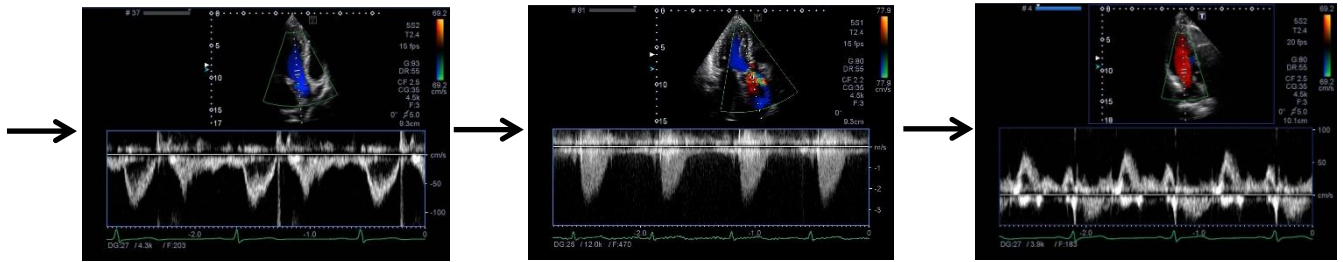
左室駆出血流速波形

連続波ドプラ法

大動脈弁口血流速波形

パルスドプラ法

左室流入血流速波形

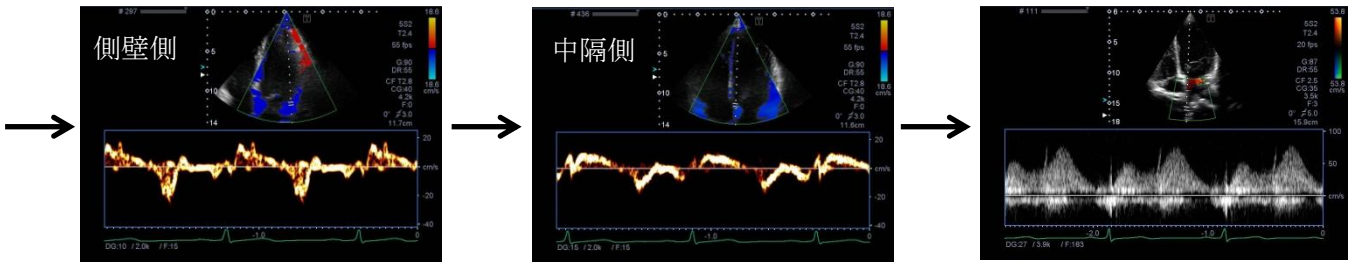


組織ドプラ法

僧帽弁輪部運動速波形

パルスドプラ法

肺静脈血流速波形



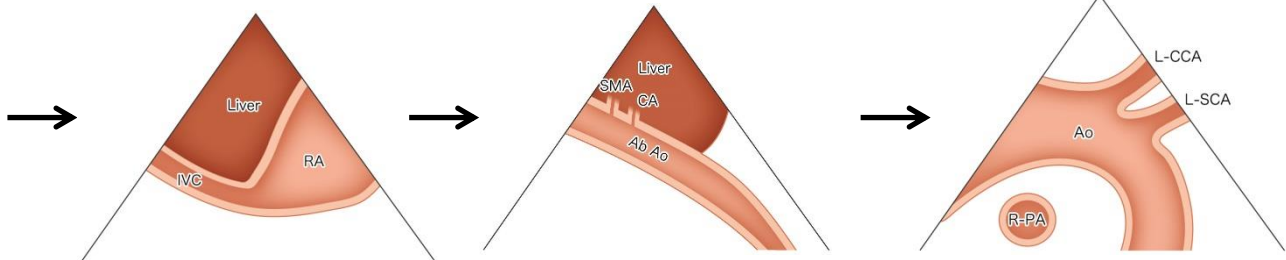
心窩部矢状断面

下大静脈長軸断面

下行大動脈長軸断面

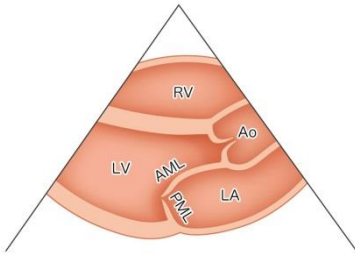
胸骨上窩大動脈

弓部断面

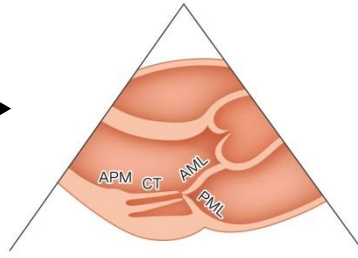


走査手順全体図 (パターン 3)

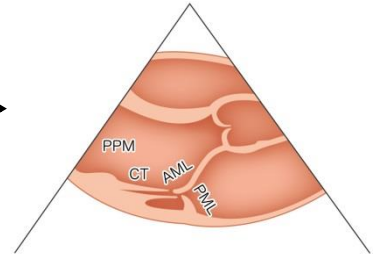
胸骨左縁左室長軸断面



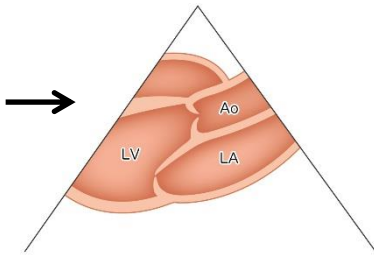
前交連側左室長軸断面



後交連側左室長軸断面

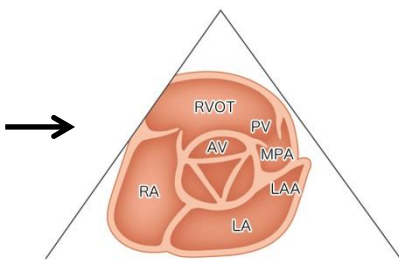


高位肋間アプローチ

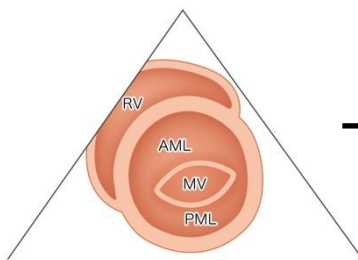


胸骨左縁短軸断面

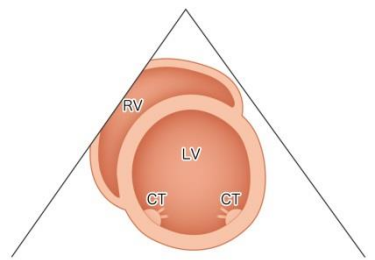
大動脈弁レベル



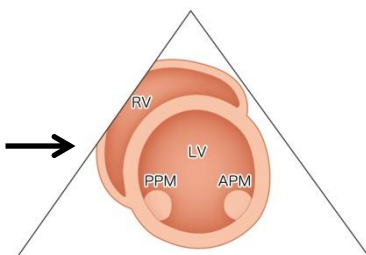
僧帽弁レベル



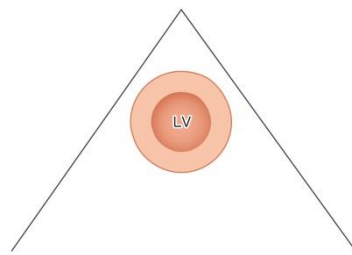
腱索レベル



乳頭筋レベル

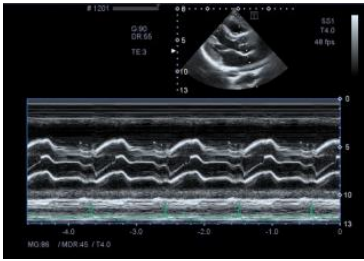


心尖部レベル

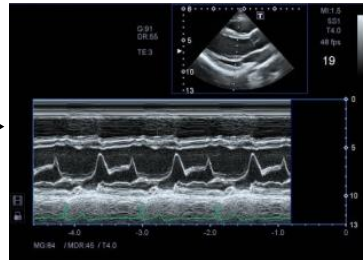


Mモード法

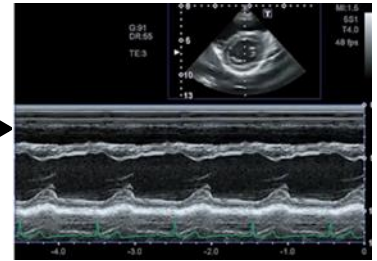
大動脈-左房



僧帽弁

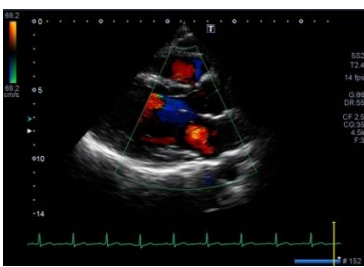


左室

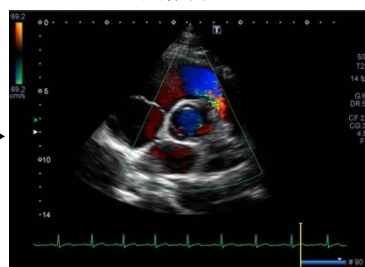


カラードプラ法

胸骨左縁左室長軸断面

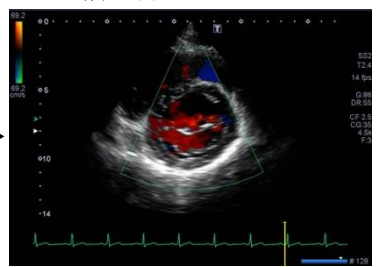


胸骨左縁短軸断面

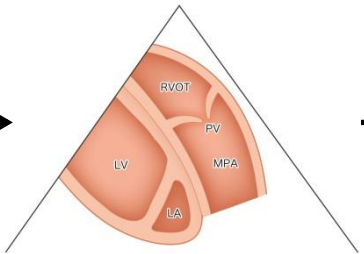


大動脈弁レベル

僧帽弁レベル

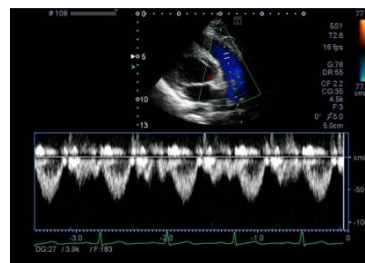


右室流出路長軸断面

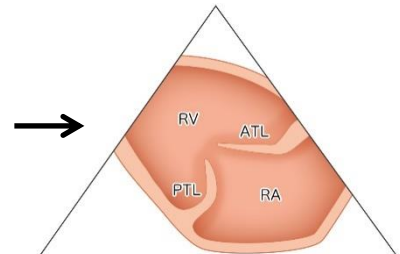


パルスドプラ法

右室駆出血流速波形



右室流入路長軸断面

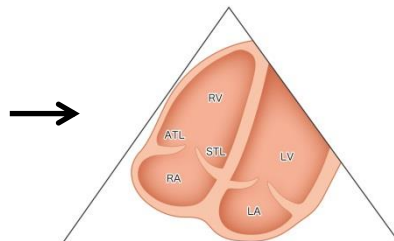


連続波ドプラ法

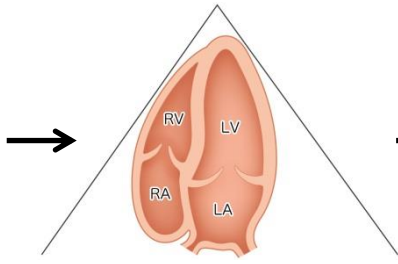
三尖弁逆流流速波形



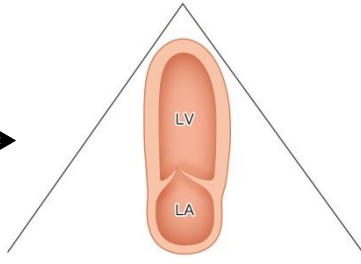
胸骨左縁四腔断面



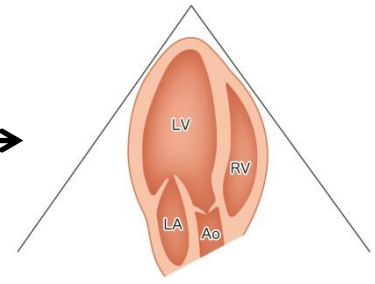
心尖部四腔断面



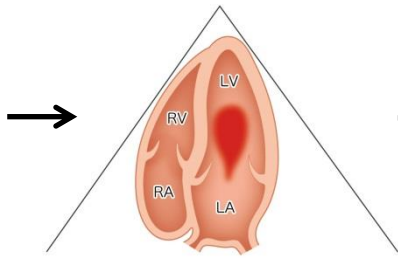
心尖部二腔断面



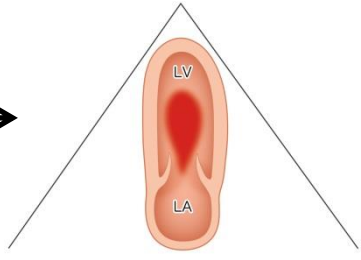
心尖部長軸断面



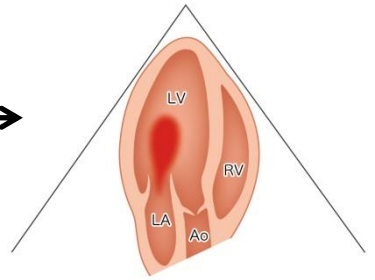
カラードプラ法
心尖部四腔断面



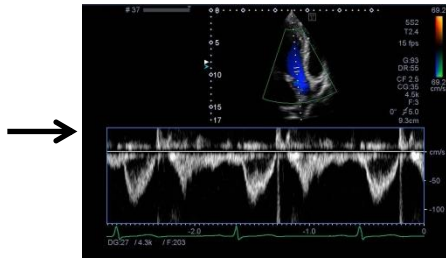
心尖部二腔断面



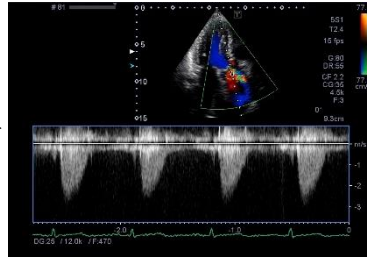
心尖部長軸断面



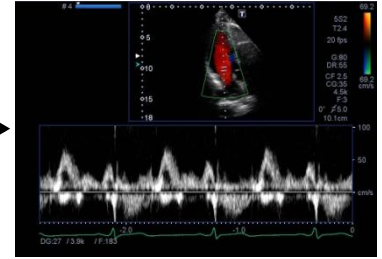
パルスドプラ法
左室駆出血流速波形



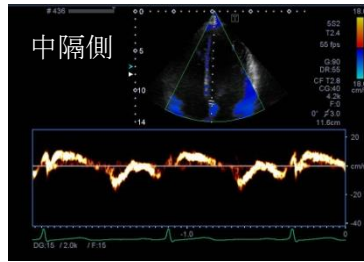
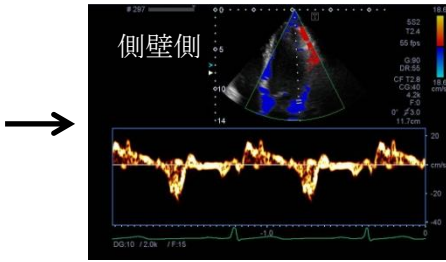
連続波ドプラ法
大動脈弁口血流速度波形



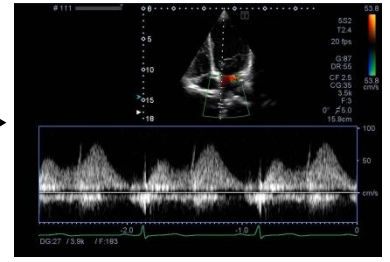
左室流入血流速度波形



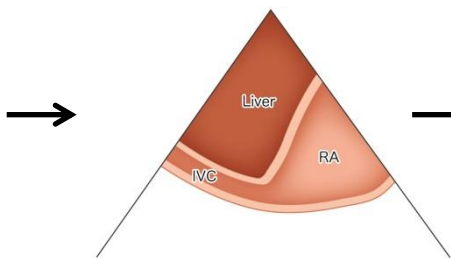
組織ドプラ法
僧帽弁輪部運動速度波形



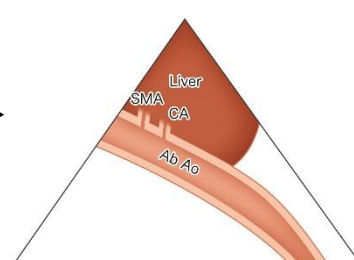
パルスドプラ法
肺静脈血流速度波形



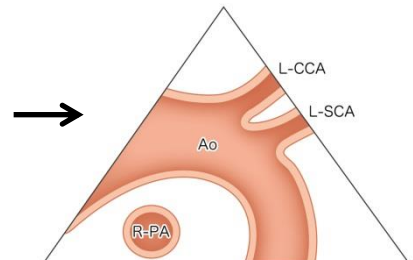
心窩部矢状断面
下大静脈長軸断面



下行大動脈長軸断面



胸骨上窩大動脈
弓部断面



LA : 左房

RA : 右房

LV : 左室

RV : 右室

LVOT : 左室流出路

RVOT : 右室流出路

AO : 大動脈

MPA : 主肺動脈

AV : 大動脈弁

MV : 僧帽弁

AML : 僧帽弁前尖

PML : 僧帽弁後尖

APM : 前乳頭筋

PPM : 後乳頭筋

CT : 腱索

PV : 肺動脈弁

ATL : 三尖弁前尖

PTL : 三尖弁後尖

STL : 三尖弁中隔尖

Liver : 肝臟

CA : 腹腔動脈

SMA : 上腸間膜動脈

Ab AO : 腹部大動脈

IVC : 下大靜脈

L-CCA : 左總頸動脈

L-SCA : 左鎖骨下動脈

R-PA : 右肺動脈

LAA : 左心耳